

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第108号 2018年9月12日 発行

『作業療法士の働き方を伝える』教育支援プラットフォーム事業 小学校親子作業療法体験会を初開催!!

モデル事業担当理事 桂 靖典(木島病院)

8月5日(日)、金沢勤労者プラザにて「小学校親子作業療法体験会」を開催した。本体験会は初めての取り組みであり、障がいイメージを持たない小学生に対して、どのように作業療法士を体験してもらうかについての様々な試行錯誤があったが、8組の親子17名(4～6年生と両親参加を含む)の参加があり、盛況のうちに終えることが出来た。

作業療法士役の小学生には、片麻痺患者役の保護者がカレーを作る時に、困ることの解決方法を考えてもらった。保護者には、三角巾で利き手を固定して、障がいを疑似体験してもらい、①米研ぎ、②切る、③炒める、④盛り付け、⑤片付けの各工程で不都合さを体験してもらった。このような体験から、親子それぞれに作業療法士の働き方の一端を知ってもらうという企画である。

小学生は、保護者を「(苗字で)〇〇さん」と、保護者にはお子さんを「作業療法士さん」と呼んでもらった(ルール1)。作業療法士に扮する小学生は、患者さんが困った場面で、具体的に困っていること(例えば、片手では野菜が固定できずに上手く切れない様子)を見て、サポートに入っている会員作業療法士からアドバイスをもらい、適した自助具を見つけた。そして、実際に自助具のポイントを

学びながら、患者さんが出来なくて困っていたことが出来るようになり、患者役の保護者から「ありがとう」と感謝された(ルール2)。2つのルールの下、試行錯誤と問題解決をその都度繰り返し体験してもらった。

体験会中、「ありがとう」と保護者から言われた子ども達の表情は、嬉しさと照れが混ざっていて印象的であった。本事業の目的の一つでもあった、「人の役に立つ」、そして「感謝される」といったキャリア教育支援にも貢献できたのではないだろうか。

今回、たくさんの会員作業療法士の力を借りて事業を開催することが出来た。この場を借りて深謝申し上げる。次年度は能登地区、加賀地区でも開催予定である。多くの小学生が作業療法士を体験する中で笑顔がみられるよう協力を頂ければ幸いである。



第27回石川県作業療法学会 「地域とともに作業療法」を終えて

学会長 明福 真理子 (能美市介護老人保健施設はまなすの丘)

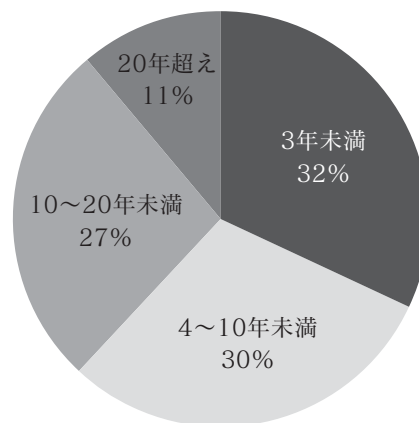
6月24日は暑い一日であった。金沢大学十全講堂に集まった学生18名を含む179名の参加者の思いも熱かった。37題の一般演題はどれも素晴らしく、フロアで語り合う姿も多く見られていた。例年と比べ、経験年数の多い皆さんや老年期・地域の分野で働く皆さんの参加が多かったことは特筆すべきことである。アンケート結果の一部をここに掲載させていただく。学会運営に携わってくれた実行委員の皆さん、参加してくれた皆さん、多くの方が学会に参加できるように当日の病院・施設での勤務を引き受けてくれた皆さん、全ての人にこの場を借りて御礼申し上げる。

今回の学会テーマは、専門分野に関わらずわれわれ作業療法士が対象としているのは地域に暮らす人たちであり、その人たちの地域生活をご本人だけでなくご家族のお力もいただきながら、地域に支えられ地域とともに作業療法を实践させていただいているという思いから決めさせていただいた。住み慣れた住まいや地域での暮らしを支援する多くの実践を報告いただき、作業療法の持つ力の素晴らしさを実感できたのではないだろうか。

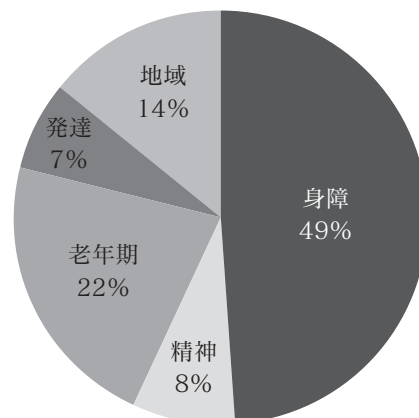


(左から)東川会長、藤川幸之助氏と明福学会長

参加者経験年数



分野別参加者割合



特別講演「支える側が支えられるとき～認知症の母が教えてくれたこと～」では詩人の藤川幸之助氏の涙とユーモアにあふれた、感情豊かなお話を伺うことができた。目の前のご本人の思い、ご本人を支えるご家族の思いを知り、一緒に支えているつもりで実は支えられていることも多い。作業療法という作業を行なうことが、今自分が生かされている意味なのではないかとも思うのである。また、学術部による学会発表・論文作成支援が本格的に始まっている。是非多くの県士会員の更なる実践報告・研究発表が形になることを期待している。

第27回石川県作業療法学会 学会長奨励賞受賞者の言葉



(左から)亀井氏、明福学会長、高間氏

- 「大腿骨転子部骨折に不整脈を併発した症例の公衆浴場の利用と買い物の再開を目指して～医療における地域での介入と連携～」

亀井 勇

- 「脳卒中ドライバーのスクリーニング評価日本版の使用経験」

高間 達也

芳珠記念病院 亀井 勇

今回、学会長奨励賞を頂き大変嬉しく思っている。このような賞を頂いたのも、患者様と普段からご指導をしてくださる先輩方のおかげであり、心から感謝している。今回、患者様のニーズを知り、一緒に目標を共有する中でご家族様への介入、入院中から退院後の地域参加に向けて、実際場面で練習することの重要性などを勉強させて頂いた。今回学んだことを今後の臨床で活かし、この賞を励みに精進したいと思う。

恵寿総合病院 高間 達也

今回、脳損傷者の自動車運転評価について研究報告を行った。臨床現場での疑問を研究出来た貴重な経験になるとともに、学会長奨励賞までいただき、大変嬉しく感じている。結果から臨床に活かす事、さらなる検討など、活動を継続していきたいと考えている。また、多くの方からのご指導、ご協力をいただいたことに心から感謝を述べたい。今後は「臨床・教育・研究」を常に念頭に置き、臨床での活動を続けていきたいと考えている。

第27回石川県作業療法学会の発表を終えて

金沢西病院 山梨 珠美

私は現在、臨床経験は2年目であり、今回初めて学会発表をさせて頂いた。発表準備では、様々な文献を読んだり、自分の治療を振り返ったりと、改めて日々の自分の関わり方を考え直す良いきっかけとなった。発表当日はとても緊張したが、無事に終えることができた。今回発表にあたり、職場の先輩方に丁寧にご指導を頂き、とても感謝している。

また、学会に参加して、様々な分野の演題発表があり、どれも日々の業務に役立つ内容ばかりであった。症例報告だけでなく、追跡調査や研究報告等を聞くことができ、発表の仕方学ぶことができた。今回の学会テーマは、「地域とともに作業療法」であった。私は、回復期病棟で勤務させて頂いている。在宅生活に向けてのご本人様のニーズに合わせた支援の仕方や地域連携に対し、作業療法士としての関わり方の多様性を学ぶことができた。また、藤川幸之助氏の特別講演「支える側が支えられるとき～認知症の母が教えてくれたこと～」では、とても心を打たれた。たとえ会話ができない方でも、感じることで

きる。患者様の反応の違いにしっかりと目を向けて、より良い反応が得られるよう、作業療法士だからできる様々なアイディアで関わっていききたい。

学会を通して、多くのことを学ぶことができた。今後も、学会や研修会に積極的に参加していきたいと思う。



(左から)白山氏、越仲氏、筆者、前畑氏、澤本氏、大熊氏

『作業療法士の働き方を伝える』教育支援プラットフォーム事業の実施について

モデル事業担当理事 米田 貢 (金沢大学)

さて、皆さんは当会webに『小・中・高校生のキャリア教育支援事業』のページが新たに設けられたことをご存じだろうか。これは本稿タイトルにある通り、『作業療法士の働き方を伝える』教育支援プラットフォーム事業(以下、モデル事業)に関連して設置したものである。モデル事業については、総会やニュースの配信の折に紹介してきたが、以下の6つのプラットフォームを改めて周知したい。Webの冒頭には、モデル事業の概要資料を掲載しているので、合わせて確認してほしい。

1) 小学校親子作業療法体験会は新しい取り組みである。本誌巻頭の報告を参照されたい。2) 中学校および3) 高等学校のキャリア教育支援事業は当会会員の学校訪問を通じ、作業療法の啓発と当会の事業を知ってもらう。そして、相談窓口を設置し、必要に応じて職業講話や出張講義の講師を派遣する取り組みである。本号では母校の高等学校を訪問する会員の取り組みを報告している(下頁参照)。さらに、4)

高校生の能動型のキャリア教育支援事業は、なごやか作業療法セミナー、あるいは県内養成校のオープンキャンパスなどに参加し、より作業療法士に興味を持った高校生に対してインターンシップ(病院見学等)を通じた職業選択の機会を提供する。5) キャリア教育を推進する機関との連携は、一つはジョブカフェ石川が主催する仕事探しシェルパ(職業講話)に当会から講師を派遣するもので、今年度は桂靖典さん(木島病院)と林怜子さん(金沢医療センター)に担っていただいた。もう一つはヤングハローワークのジュニア・インターンシップへの相談協力である。最後に6) 啓発広報活動は、広報誌『COTOT』を発刊し、すでに様々な場面で配布、活用している。

このように様々な取り組みの結果、今まで以上に教育関係者、保護者などから会員に対して質問や問い合わせがあることも考えられる。その際は、「知らない」という返答ではなく、適宜説明してそれぞれの事業担当者にご一報いただきたい。

高等学校への母校訪問

モデル事業担当理事 白山 武志 (金沢西病院)

モデル事業の一つである高等学校への母校訪問は、26名の会員の協力の下、県内56校のうちの24校について行った。訪問していただいた会員の皆様には、広報誌『COTOT』の発刊に合わせ、また夏休み前に行うために、短い期間の中で日程を調整して訪問いただいた。会員および所属先のご理解に対して、改めて感謝申し上げる。

ここでは、訪問終了後に提出いただいた報告書の内容から取り組みの概要を報告する。

まず、訪問に際しては、会員ご自身から学校へ電話してアポイントを取っていただいた。マニュアルを作成してあったのでほぼスムーズに日程調整ができたようである。訪問当日は、教員に当会の高校生向けの取り組みとして、なごやか作業療法セミナー、職業講話や出張講義の講師派遣などを中心に説明してもらった。『COTOT』を活用することで、作業療法

の説明がしやすく、ある教員からは「OTとPTやSTの違いがよくわかった」とコメントをもらったという報告もあった。卒業生ということで、「知っている先生で懐かしく話も弾んだ」、「知らない先生でも話やすかった」というメリットが大きかったようである。また、去年なごやか作業療法セミナーに参加した生徒がいた学校からは、「生徒からの評判が良かった」と病院で実施した良さをコメントいただいており、訪問したからこそ聞くことができたといえる。

さて、試行錯誤の中で取り組んだ母校訪問であったが、私自身も訪問してみて、学校側が作業療法士という働き方を知り、生徒に紹介しやすくなったと感じることができた。来年度以降も母校訪問を継続するために更なる会員の協力をお願いし、高校生にとって作業療法士がより身近な職業になることを期待したい。

訪問を実施した高等学校

大聖寺	金沢錦丘	金沢二水	金沢西	七尾	鵬学園
小松明峰	金沢伏見	金沢桜丘	星稜	鹿西	田鶴浜
小松	金沢辰巳丘	金沢泉丘	金沢	門前	志賀
寺井	金沢龍谷	県立工業	津幡	輪島	飯田

各支部支援活動状況

能登支部

介護医療院恵寿鳩ヶ丘 中西 こずえ

平成30年5月1日より、恵寿鳩ヶ丘は、「介護療養型老人保健施設」から30年度改正介護保険法改定で新しく創設された「介護医療院」に転換した。

介護医療院とは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、医療と介護の複合的ニーズに対応する入所型の介護保険施設である。

医療的処置が必要な方々の長期療養に向けた日常的な医学管理、住みなれた環境に近い生活の場の提供、人生の最終段階での尊厳を持ったケアが必要になってくる。

リハビリにおいては、すべて個別療法に切替えたこと、入所後3ヶ月間の短期集中リハビリ終了後も、老健施設とは違い、回数制限が

無くなったことで充実化に繋がっていると思われる。

今後は、地域に開かれた交流施設としての機能も担うために、介護の日がある秋に地域住民交流イベントの開催を予定している。



加賀支部

共生型福祉施設G-Hills ネクストステップ 荒井 佑美

8月5日(日)に、根上総合文化会館にて「能美市民ボランティアフェスティバル」が開催された。作業療法の啓発を目的に作業体験やポスター展示を行い、加賀支部から11人が参加した。

毎年、実行委員として準備の段階から参加しているため、ボランティア団体との繋がりが増え、地域で活動をする一員として認識されている印象を受けた。また、地域の方からは「リハビリという言葉は知っているけど、作業療法という名前は初めて聞いたわ。こんな事が出来るんやね。」と、ネット手芸やモールを用いた作業体験を通して興味を持つ方が多くいた。また、ボランティアで参加していた中高生には、『COTOT』を用いて、作業療法について説明することができた。地域の子ども

から高齢者まで幅広い年代の方が体験に訪れ、作業自体が治療になるという作業療法の良さについて伝えることができた。今後も継続的に参加し、作業療法を広める活動を行ってきたい。



金沢西支部

公立つるぎ病院 苗山 卓弘

6月20日(水)に、金沢脳神経外科病院で金沢西支部連絡会、第1回事例検討会を開催した。10施設32名の参加があり、連絡会では、昨年・今年度の活動報告を行い、各施設の協力をお願いした。事例検討会では、3事例の発表があった。発表者は、学会の発表も控えていたために、認定作業療法士からアドバイスや他の参加者からの質問等、活発な意見交換の場となった。

また、7月4日(水)に、金沢赤十字病院で、第1回西支部MTDLP事例検討会を開催した。24名の参加、2事例の発表があった。ファシリテーターとして村井千賀先生と西谷すずな先生に参加して頂いた。参加者からは、質問をはじめ多数の発言、ファシリテーターからは発表者に対して今後の事例登録に向けて、参

加者に対しては今後発表を行うためのそれぞれアドバイスを頂き充実した検討会となった。

次回は9月19日(水)に事例検討会を石川県済生会金沢病院で予定している。多数の参加と事例報告を期待する。



MTDLP事例検討会の様子

金沢東支部

金沢大学附属病院 堀江 翔

5月23日(水)、第1回のMTDLP事例検討会を千木病院にて開催した。参加者は25名であった。今年度も会場をその都度変更しているので、会場付近のOTの参加を促し、40名の参加を目指していきたい。また、6月9日(土)には、研修会・事例検討会を金大病院にて開催し、金城大学の澤氏に今後の臨床実習の在り方についてご講演いただいた。現在に至るまでの実習の歴史に加え、問題提起、クリニカルクラクシップを主とした実習への転換など、指導者として変革に対応していく必要性を強く教えられた内容であった。なお、踊り流しについては別記する。今後は、9月26日(水)に

MTDLP、11月2日(金)に一般の事例検討会を予定しており、多数の参加を期待している。



百万石踊り流しに参加して

金沢大学附属病院 堀江 翔

6月2日(土)に開催された、第67回金沢百万石まつりにおける百万石踊り流しに県士会として参加した。例年現職者共通研修の日程を合わせての開催であり、新会員の参加が多かったが、今年は別日であったため参加者減が危惧された。当日は、44名の参加と新人以外の参加が増え、ありがたかったが、新人はやや少なめであったため今後検討が必要である。踊り流しの規模は年々大きくなり、コースも拡大を続けている。元気のある石川県作業療法士会をアピールするには格好の場所であり、会員の一体感・終了後の充実感が感じられる

他にはない機会である。今回、終了後の二次会では、東川会長から「目標100人!」との声も上がったため、新人・経験者問わず多数の参加を促していきたい。



地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業 ～県PT・OT・ST連絡会の取り組み～

副会長 寺田 佳世(石川県リハビリテーションセンター)

地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進められる中、日本理学療法士協会・作業療法士協会・言語聴覚士協会が3協会合同で、各地域のPT・OT・STが市町事業を理解するとともに、地域支援事業の要点を押さえた人材の育成を目的に都道府県の県リハビリテーション支援センター等との協働により支援組織を構築し、研修会の企画・運営を体系的に推進している。

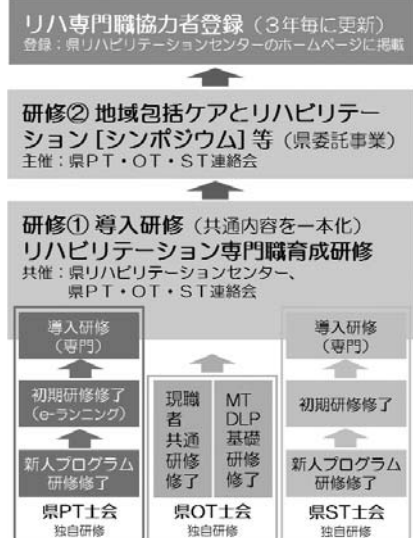
石川県ではこの方針を受け、県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会の研修終了者と県リハビリテーションセンターとの協働により、県内PT・OT・STの資質向上と支援組織の充実を目的に研修①②を行い、リハ専門職の協力者登録を促進していく。

平成30年は、①導入研修(共通内容)を12月9日(日)に開催。研修②のシンポジウム等は1月

27日(日)に開催を予定している。

一人でも多くのリハ専門職に参加いただき、県内各地で活躍できることを目指しておりますので、ご協力を宜しくお願いします。

石川県PT・OT・ST連絡会の推進概要



平成30年度 公益社団法人石川県作業療法士会

◆◆◆第5回 総会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年5月19日(土) 16時～17時55分 KKRホテル金沢
2. 出席理事：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、小池、村田、高多、川上、河野、米田、白山、桂
(欠席理事：渡邊、寺尾、明福、中森)
出席監事：後出雅敏、進藤浩美 (山田幸司 ノチデ会計)
議決権のある正会員数：759名
3. 議事
 - 第1・2号議案 平成29年度事業報告・平成29年度決算について報告。
 - 第3・4号議案 平成30年度事業計画・平成30年度事業予算決算について報告。平成30年度事業計画に対し中川等史氏(キッズルーム・トマト)より発達障害分野への会員の関心の低さについて指摘があり、会長より今後の改善方針について説明があった。出雲健志氏(自宅)より研修会参加者を増やすための意見があり、会長より現状での対策状況について説明があった。村井千賀氏(県立高松病院)より日本OT協会の情報とのアクセス状況についての質問および医療現場を対象とした研修会の不十分さについて意見があり、会長より現状での会員への情報伝達方法についての説明と今後の改善方法について、医療分野の強化についての現状での対策状況と今後の改善方法について説明があった。
 - 第5号議案 その他として生田宗博氏(生田活動能力回復研究所)が日本OT協会名誉会員表彰に推薦されることが決定したので会長より花束と記念品が贈られた。今夏創刊予定の石川県作業療法士会広報誌の表題「COTOT(ことっと)」採用表彰として、上野玲子氏(石川県リハビリテーションセンター)に会長より賞状と記念品が贈られた。会長より今後の日本OT協会との連絡強化として村井千賀氏(県立高松病院、日本OT協会制度対策部長・女性会員の参画促進事業担当)の紹介があった。

◆◆◆第2回 理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年 7月 11日(水) 19時～21時15分 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、小池、村田、渡邊、明福、寺尾、高多、川上、米田、白山、中森、桂(理事17名)、西村、永井(支部長2名)、山本詩、山下(書記2名)
3. 議事
 - 第1号議案 各部・委員会・各支部事業経過報告
 - 【学術部】麦井事務局長より第28回石川県作業療法学会の開催内容について、2日間開催の提案があり全員一致で承認。
 - 【教育部】桂理事より次年度の現職者共通研修講師について案件があり、次回理事連絡会で検討。
 - 【金沢西支部】高多理事より支部部員による事例検討会・研修会等へのアンケート結果について説明。
 - 【金沢東支部】踊り流し参加者増員への対応について東川会長より提案。
 - 【認知症対応委員会】岡田理事より金沢市認知機能向上教室が9月から12包括で開始予定の報告。
 - 【PT・OT・ST連絡会】寺田副会長より地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業について、今年度は協会の推進概要に沿って県でも研修体制を形づける旨の報告。
 - 【企画部】風船バレーボール大会で販売する記念タオルの本数について、今年度はピンク色を150本を製作することで決定。
 - 【広報部】広報誌「COTOT」第1号の配布先について白山理事より案件があり、県と市町社会福祉協議会へ追加配布が決定。広報誌「COTOT」第2号の内容について検討。
 - 【表彰委員会】寺田副会長より第47回医療功労賞(主催：読売新聞)の候補として県士会より進藤氏を推薦する提案があり全員一致で承認。
 - 【事務局】今年度以降の県士会会員名簿の会員への配布中止を麦井事務局長より提案、全員一致で承認。

インフォメーション 研修案内

金沢西支部 第2回事例検討会

日時 9月19日(水) 19:00～
会場 石川県済生会金沢病院

現職者選択研修会(老年期)

日時 9月23日(日) 9:30～受付開始
会場 金沢流通会館

金沢東支部 第2回MTDLP事例検討会

日時 9月26日(水) 19:00～
会場 浅ノ川総合病院

第32回石川県リハビリテーション 風船バレーボール大会

日時 10月6日(土) 9:30～受付開始
会場 いしかわ総合スポーツセンター

加賀支部 第3回事例検討会

日時 10月10日(水)
会場 やわたメディカルセンター

能登支部 第2回事例検討会

日時 10月19日(金) 18:30～
会場 市立輪島病院

金沢東支部 第2回事例検討会

日時 11月2日(金)
会場 金沢大学附属病院

現職者共通研修会

日時 11月23日(金・祝)
会場 石川県リハビリテーションセンター



KINJO UNIVERSITY

社会福祉学部
社会福祉学科
子ども福祉学科

医療健康学部
理学療法学科
作業療法学科

看護学部
看護学科

大学院
総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

金城大学 医療健康学部 理学療法学科/作業療法学科
全国でもトップクラスの国家試験合格率と100%の就職率！
幅広い知識と実践力を持つ医療・福祉のリーダーを養成し、地域の健康を支えています。

金城大学 入試広報部 金城大学ホームページはこちら▶▶▶

☎ 0120-276-150 E-mail: nyushi@kinjo.ac.jp
TEL: 076-276-3175(本館) FAX: 076-275-4316

【金城大学】をフォローして
最新情報をチェックしよう！

〈笠間キャンパス〉〒924-8511 石川県白山市笠間町1200番地 〈松任キャンパス〉〒924-0865 石川県白山市金丸1丁目250番地 〈金沢市石川中央病院敷地〉



在宅ならではの
深い関わりが持てる!!
「退院後の人生を支えたい」
そんな想いで介護の業界に入
りました。お客様とじっくり
関われる今の環境にやりがい
を感じています。

デイサービス 太陽のリゾート白山
管理者(作業療法士) 中富 博久

↓こちらの事業所で募集中です↓

金沢市、野々市市、白山市の
◆デイサービス ◆訪問リハビリ(有料老人ホーム内勤務)

正社員 月給…270,000円～、時間…8:30～17:30 または 9:00～18:00
休日…週休2日(シフト制)、賞与年2回、社会保険完備、退職金あり

パート 時給…2,000円～、時間…1日2時間以上
勤務…1ヶ月の勤務回数店相談、労災あり ※時間に応じて雇用保険・社会保険加入

共通 昇給年1回、交通費あり、各種資格手当、日/祝出勤手当、OJT制度

 株式会社 サンウェルズ SUNWELLS GROUP 金沢市、白山市を中心に16ヶ所の介護施設を運営しています。
<お問合せ> 株式会社サンウェルズ本社 人事部：東(ひがし)
☎076-272-8982

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
学校法人阿弥陀寺教育学園
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生会えんやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
株式会社半田
株式会社ヤマシタコーポレーション金沢営業所
セントラルメディカル株式会社
三星自動車販売株式会社
株式会社メディベック
株式会社サンウェルズ

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社

新入会員名簿

勤務先	氏名	勤務先	氏名
加賀市医療センター	辻原 早希	森田病院	秋月 唯奈
加賀市医療センター	山本可南子	国立病院機構 金沢医療センター	大淵 由衣
加賀市医療センター	鈴木 弥生	なないろ訪問看護ステーション	越石 康太

会員動向

石川県作業療法士会会員数 811名(平成30年8月現在)
認定作業療法士 31名(平成30年8月現在)
専門作業療法士 福祉用具2名、高次脳機能障害1名、認知症1名、手外科1名



編集後記

現在、国では、新時代の社会で活躍できる人材を育てるために、高大接続改革、つまり高校教育、大学教育、大学入試を変革させる大事業を進めている。石川県の18歳人口が2017年は約11,400人、2040年には、約7,800人と約3,600人減少するにも関わらず、大学進学率は53%と高くなる想定である。今号は、前号に引き続き、広報誌『COTOT』の文字が多数掲載されている。今後も、『COTOT』を活用し、1人でも多くの中・高校生に、作業療法士の仕事を知ってもらいたい。私の職場に、大学生が気軽に閲覧できる場所に『COTOT』を置いてみた。大学生にも分かり易い内容となっており、好評である。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：米田貢、明福真理子、白山武志、酒野直樹、横川菜美、杉浦有子、藤田隆司、川口朋子、

寺井利夫、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、越仲共子、山梨珠美、南朱音、上野玲子

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社